

1. 令和7年度の本校の進路状況

今年度の卒業生38名（男子14名・女子24名）の進路決定状況は、大学2名・短大4名、専門・各種学校13名、民間就職12名、公務員3名、未決定4名という内訳となっています。（1月31日現在）

【進学】

少子化の影響で、中堅クラスの大学や短大は合格し易くなって来ていますが、国公立大学は依然合格は難しい状況が続いています。本校の場合、多くの生徒が学校推薦型選抜や総合型選抜入試で受験しています。高い目的意識を持って毎日の学校生活を送ったことが合格した要因の一つだと思います。

【就職】

就職の求人件数や求人数は例年並みでした。今年度は、気仙沼・本吉管内への地元就職者が増えたのが大きな特徴です。内訳は管内就職7名、県内就職（管内以外）3名、県外就職2名、の合計12名、公務員就職は3名でした。

企業や行政の方々には意欲的な生徒を望んでおり、自分がそのような方々の期待に応えられるような人物なのかどうか、期待に応えるためにはどうしたらいいのかをしっかりと考え、学校生活の中で、やるべきことを行動に移し努力し続けていってください。

2. 本校の進路指導の特徴

全国的な流れではありますが、気仙沼・本吉地区はここ数年で大幅に生徒数が減少しております。本校も10年前は、各学年100名前後の生徒数でしたが、ここ数年は各学年30名程となり、全校生徒が100名を切りました。人数だけをみると、とても寂しい気はしますが、本校生徒は素直で明るく、何事にも前向きに取り組む生徒が多く在籍しています。進路指導部もこのような状況をマイナスに捉えるのではなく、生徒が少なくなった分、できる限りきめ細やかな指導をしていこうと様々なことに取り組んできました。

一つ紹介させていただきますが、今まで3年次生だけ、或いは2年次生だけで実施していた進路行事に、全校生徒、又は1・2年次生合同でという形で取り组ませました。早い時期から進路を意識させ、進路目標を立てさせることを狙いとしています。以下はその一例です。

①全校一斉面接指導



従来は、進路決定目前の3年次生だけで行っていた面接指導ですが、テストの最終日に、全校一斉で面接指導に取り组ませ、早期の進路目標の設定を目指しました。

②「総合的な探究の時間」発表会

例年、3年次生が2年次生に向けて「総合的な探究の時間」での1年間の取り組みを発表してきましたが、今年度から1年次生も加えて、学習成果を共有しました。



③ものづくり企業見学会



県の産業人材対策課、気仙沼地方振興事務所と協力して行ってきた行事で、例年2年次生だけで行っていましたが、今年度から、1・2年次生合同で、気仙沼方面と仙台方面の企業を見学してきました。